

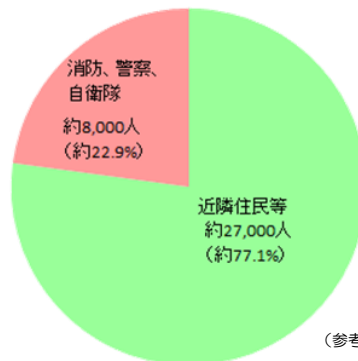
災害に備える支え合い～顔の見える関係づくり～

平成30年6月18日に起きた大阪府北部を震源とする地震や9月に発生した台風21号では、北摂地域等を中心に大きな被害をもたらしました。

先日の地震やそれ以上の大規模な災害発生時には、行政の機能が麻痺し、全ての被災者を迅速に支援することが難しくなります。

阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数

阪神・淡路大震災の際は、倒壊した家屋の下敷きになって脱出できなかった人の多くが家族や隣近所の人に助けられました。(右図)



(参考)平成26年度防災白書

このように、災害発生直後には家族や隣近所による助け合いが有効です。

普段から隣近所での「顔の見える関係」づくりができていることは、安否確認、救助活動等がスムーズに行われることにつながります。



災害時に隣近所で支え合うために、今、地域で何ができるのか、どう備えるか、これからの地域防災力について考えます。

日時 平成31年2月2日(土) 午前10時から正午まで

会場 保健センター 研修室

定員 100名

参加申込 申込不要。

参加費用 無料

第1部 講演「災害に備える支え合い～平常時から非常時へ～」

講師 稲場 圭信 さん(大阪大学大学院教授、人間科学研究科)

第2部 シンポジウム

シンポジスト候補 講師(コーディネーター)、自主防災組織(五月が丘地区)、吹社協、市関係

● 一時保育があり

1歳から就学前までの幼児5人以内。希望者多数の場合は抽選になります。保育を希望される方は1月23日(水)までに住所、名前、子どもの年齢、電話番号を吹田市福祉総務課までご連絡ください。

● 手話通訳、要約筆記あり

(ご注意ください)会場にお越しの際は可能な限り、公共交通機関をご利用ください。

共催 吹田市、吹田市社会福祉協議会

問い合わせ先

吹田市福祉総務課 TEL06-6384-1815 FAX06-6368-7348 Eメール fuksumu@city.suita.osaka.jp